

「体験することの大切さ」

教頭 黒澤 貴之

少しずつ春の気配を感じる季節となりました。今年度も残りわずかとなり、子どもたちの一年間の成長をあらためて感じる時期です。

先日、ある教員との会話の中で「今の大学生は ICT を効果的に活用し、仕事を効率的にこなしている」という話題になりました。生まれた時からデジタル機器に囲まれ、疑問に思ったことは辞書ではなくインターネットで瞬時に調べることができる環境で育ってきた子どもたちにとって、ICT を使いこなすことは当たり前の力になりつつあります。

実際に私も「ChatGPT」に「特別支援学校 進路便り」と入力し、文章を作成してみました。



日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、子どもたち一人一人が自分らしく社会の中で生きていくためには、早い段階からの「進路」を見据えた学びと経験の積み重ねが大切です。進路指導とは、単に卒業後の進学先や就労先を決めることではありません。子どもたちが自分の良さや可能性に気づき、できることを少しずつ広げながら、将来の生活を主体的に築いていく力を育む営みです。本校では、日々の授業や作業学習、校外学習、実習などを通して、社会とのつながりを意識した学びを大切にしています。成功体験を積み重ねることはもちろん、時には失敗や戸惑いを経験することも、成長には欠かせません。その一つ一つが、子どもたちの自信となり、次の挑戦への力となります。（一部抜粋）

わずか数秒で整った文章が示され、その精度の高さに驚かされました。しかし同時に、そこには自分自身の経験や思いは含まれていないことにも気付かされました。やはり、学校生活の中で感じたことや子どもたちの姿から学んだことがあってこそ、伝えたい思いは深まるのだと思います。体験をもとに考え、言葉を選び、推敲するからこそ、心に届く文章になるのではないのでしょうか。

このことは進路選択にも通じます。ICT を活用すれば、興味や条件を入力することで適した職業の情報を得ることができます。しかし、それはあくまでも情報です。本当に自分に合っているかどうかは、実際に体験してみなければ分かりません。

本校では、小学部段階から校外学習を通して社会で働く人々と関わる機会を設けています。中学部、高等部では作業学習や校内外実習を通して、「働くこと」への理解を深める体験を重ねています。成功だけでなく、戸惑いや失敗も含めた一つ一つの体験が、子どもたちの将来につながっていくと考えています。

本校で取り組んでいるキャリア・パスポート「未来へのスケッチ」も、その一環です。将来の夢の実現に向けて、どのような学習や体験が必要かを教員との対話を通し、視覚化し、整理していきます。体験を積み重ねながら、自分は何が好きなのか、どのように生きていきたいのかを、子どもたちや保護者の皆様とともに丁寧に考えていきたいと思っております。

今後とも本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。





高等部3年生 進路決定状況（3月6日現在）



一般事業所

職 種	業務内容	人数
製造業	部品製造、検品、木製品製造、構内清掃	6
サービス業	顧客情報管理	1
食品調理業	企業内食堂調理	1
小売業	品出し、青果袋詰め等	2
自動車小売業	洗車、接客	2

福祉サービス事業所

事業所	サービスの種類	主な活動内容	人数
秋田県心身障害者コロニー	就労継続支援B型	果樹、解体、パン製造等	3
ほのぼの本荘	就労継続支援B型	ポリパック、部品製造等	3
Work わく絆	就労継続支援B型	小物製作、清掃等	1
あゆみの会	就労継続支援B型	農業、軽作業等	1
はまなす園	就労継続支援B型	洗濯等	1
ルフラン	就労継続支援B型	軽作業、音楽活動等	1
ハイタッチ	就労継続支援B型	小物製作、受注作業等	2
和	地域活動支援センター	生産活動、余暇活動	1
水林新生園	生活介護	ポリパック、軽作業等	1
デイサービスわかば	生活介護	PT、余暇活動、入浴	※1
サポートベースブルーミー	生活介護	余暇活動、入浴	※1

※生活介護利用者は併用

【進路に関するQ&A】

Q. 高等部で進路決定に向けて実習はどのように進めますか。

A. 働く力を見極める校内実習から、進路決定に向けた現場実習を計画的に行います。そのほか、進路希望に関する進路面談を積み重ねて、卒業後の進路を決定します。

1年生

(6月) 校内実習
 (11月) 校内・現場実習（経験拡大）
 (1月～2月) 進路面談 → 高等部2年時の実習先を相談

2年生

(6月) 校内・現場実習（経験拡大）
 (11月) 現場実習（経験拡大、就職・利用想定）
 (1月～2月) 進路面談 → 卒業後を想定した実習先の相談

3年生

(6月) 現場実習（卒業後の就職・利用想定）
 (7、8月) 進路面談 → 進路先決定、方向性の確認
 (必要に応じて) 個別現場実習

それぞれの進路先に応じて、申請・手続き、入社試験等があります。ゆり支援学校ホームページの「進路の手引き」に詳しく掲載されています。